

事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業	所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
政策名	〈IV〉ふるさを愛し豊かな心を育む教育と文化のまちづくり《教育・文化》	所属G	文化財・文化振興G	課長名	白神 大三
施策名	〈29〉地域文化の振興	担当者名	高橋 誠二	電話番号	0854-40-1300 (内線)
目的	対 A)市民 B)雲南市の指定文化財 意図 伝統文化や歴史遺産に関心を持ち誇りと愛着の心を培うとともに次世代に伝える。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 5 0 0 2 項 目 中事業 中事業名 2 5 4 0 0 1	埋蔵文化財発掘調査事業	
基本事業名	〈088〉指定文化財の保護・保存				
目的	対 指定文化財 意図 適正に保護・保存する。				

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	文化財保護法に基づき、開発予定地等の埋蔵文化財の有無確認及び発掘調査を実施し、埋蔵文化財の保護保存を図る。調査の必要に応じて分布調査、確認調査(試掘調査)、発掘調査を行う。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動) 高瀬山城跡発掘調査及び報告書作成 埋蔵文化財分布調査	25年度計画(25年度に計画する主な活動) 開発に伴う埋蔵文化財発掘調査 埋蔵文化財分布調査 神原企業団地試掘調査			
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
ア	発掘調査面積	m ²	316	158	150	200
イ	発掘調査報告書	件	1	0	1	1
ウ	遺物実測点数	件	400	150	15	10
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	埋蔵文化財	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ア	発掘調査の実施件数	件	1	1	1	1	
	イ	分布・確認調査の実施件数	件	43	25	49	50	
	ウ							
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	開発予定地内における遺跡の性格を明らかにし、記録保存か、現状保存かを見極める。	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
ア	発掘調査の実施件数	件	1	1	1	1		
イ	分布・確認調査の実施件数	件	43	25	49	50		
ウ								

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
報酬(非常勤職員報酬)2,795千円 共済費5千円 賃金(臨時職員・作業員)2,819千円 需用費(消耗品等)1,034千円 使用料及び賃借料1,864千円 報奨金94千円 旅費26千円 委託料252千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円			5,221	
	一般財源	千円	6,445	7,106	3,668	10,708
	事業費計(A)	千円	6,445	7,106	8,889	10,708
	人件費	人	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	963	323	683	
	人件費計(B)	千円	3,744	1,273	2,676	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	10,189	8,379	11,565	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
① 携帯電話無線基地局設置のため、分布・確認調査が増えている。 ② 神原工業団地や圃場整備といった大規模な開発が計画されている。	特になし	地元住民の方々から、高瀬山城跡の調査成果について、説明会を開催してほしいとの要望があった。

事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業	所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	現状の職員体制では一般事務と発掘調査の両立が困難である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	文化財保護法に違反する。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		本事業以外に類似事業は存在しない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		可能な限り事業費の削減に取り組んでいる。
C 効率性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		発掘調査事業を外部委託する際の基準は、現在、島根県教育委員会で作成している。しかし、外部委託した場合でも、調査手順や方法を指導・管理する専門職員の配置が必要となる。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		国民共有の財産の保護・保存のためのものである。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		平成24年度は、消防救急デジタル無線整備に伴う高瀬山城跡の発掘調査を行い報告書を刊行した。
		B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
<p>今年度は南加茂企業団地造成に伴う試掘調査を実施する。 調査範囲を確定するため、私有地と市有地の境を明確にする。 調査地内の樹木を伐採して地形を確認する。 不自然な隆起や窪地をに、遺構・遺物がないか調査する。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		